

那覇第2地方合同庁舎3号館地域連携検討会にて地域連携策を決定
～庁舎整備に地域の意見を反映する取り組み～

沖縄総合事務局は、那覇第2地方合同庁舎3号館の設計にあたり、有識者や那覇市を交えた「那覇第2地方合同庁舎3号館地域連携検討会」を設置しています。

これまで計3回の意見交換を行い、地域の意見を地域連携策としてとりまとめましたので、お知らせいたします。

地域連携策を庁舎整備に反映することで、地域の個性を尊重した魅力あるまちづくりに寄与するとともに、災害に強い地域づくりを支援します。

【検討会概要】

■出席者：

- ・琉球大学名誉教授 池田 孝之 氏
- ・琉球大学工学部准教授 神谷 大介 氏
- ・那覇市都市みらい部都市計画課都市デザイン室
- ・那覇市まちなみ共創部まちなみ整備課
- ・沖縄総合事務局総務部
- ・沖縄総合事務局開発建設部
- ・株式会社梓設計

■開催経緯：

- ・第1回 H30.10.29
- ・第2回 H31.3.14
- ・第3回 R1.10.25

■地域連携策（検討結果）：
別紙のとおり

（参考）3号館概要

- ・所在地：那覇市おもろまち2丁目1番1号
- ・構造規模：RC造地上9階
- ・延べ面積：14,841 m²
- ・入居官署：沖縄総合通信事務所
沖縄地区税関
沖縄气象台
沖縄総合事務局南部国道事務所
- ・スケジュール（予定）：
設計 2018年度～2019年度
工事 2021年度～2023年度

▼現在の那覇第2地方合同庁舎



問い合わせ先： 内閣府沖縄総合事務局開発建設部 TEL 098-866-0031（代表）
営繕課長 森（内線 5151）

「那覇第2地方合同庁舎3号館地域連携検討会」にて決定した 主な地域連携策について

検討会では、「地域の個性を尊重した魅力あるまちづくり（景観、利便性関連）」及び「災害に強い地域づくり（防災関連）」の視点から、「3号館庁舎1階共用部」及び「那覇第2地方合同庁舎の外部空間」について、以下の地域連携策を決定しました。

検討の視点	検討箇所	主な地域連携策
景観、利便性関連	3号館庁舎1階共用部	シビックコア地区整備計画（H11.8 那覇市）と連携し、エントランスホールに、市民の方などが自由に立ち寄れる、 <u>入居官署の情報発信スペース</u> や <u>休憩・交流スペース</u> を整備します。
	那覇第2地方合同庁舎の外部空間	シビックコア地区整備計画と連携し、周囲と調和した沖縄らしい景観を形成するため、 <u>庁舎低層部を緑化</u> し、歩行者が <u>自由に通り抜け</u> できる <u>庁舎間の通路</u> を整備します。通路には、防犯性に配慮し <u>外灯等</u> を設置します。
防災関連	3号館庁舎1階共用部	大規模災害の発生時、周囲の避難所の機能を補完するため、庁舎内に <u>一時避難（※1）</u> し、 <u>気象などの災害情報</u> を得ることができる <u>スペース</u> を整備します。
	那覇第2地方合同庁舎の外部空間	大規模災害の発生時、周囲の避難所の機能を補完するため、 <u>一時避難（※1）</u> ができる <u>まとまったスペース</u> を外構の広場に整備します。広場には、 <u>炊き出し用のかまど</u> として利用できる <u>ベンチ</u> を整備します。

※1 帰宅困難者の一時的な滞在を想定

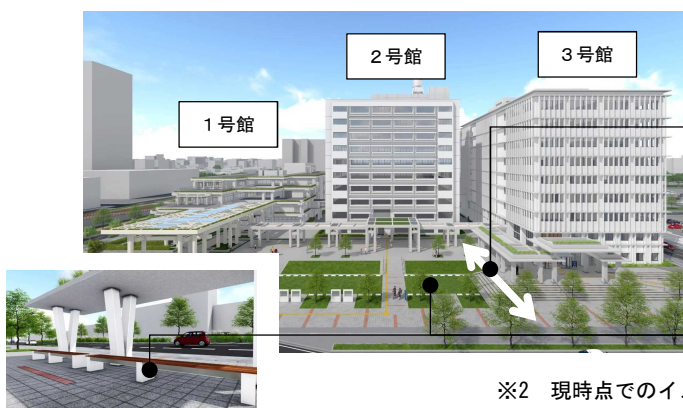
▼3号館庁舎1階共用部のイメージ（※2）



自由に立ち寄れる、行政情報スペースや休憩・交流スペース

一時避難（※1）し、災害情報を得ることのできるスペース

▼那覇第2地方合同庁舎の外部空間のイメージ（※2）



庁舎間を歩行者が自由に通り抜けられる通路

一時避難（※1）ができるまとまったスペース、炊き出し用ベンチ

※2 現時点でのイメージであり、今後の検討により変更することがあります。